

総合診療計画書

平成 年 月 日

患者名 _____ 様

主治医

検査名 ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)

担当医

病室

担当看護師

担当薬剤師

達成目標

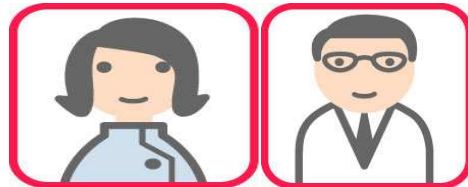
- ①不安なく検査を受けることができる
②検査後の合併症もなく、順調に経過することができる

	検査前日(/)	手術当日(/)手術前	手術後	検査後 1 ～ 7 日目	検査後 8 日目～	患者さんおよび家族への説明
目標	納得して検査に臨むことができる。	不安が言える。	苦痛な症状を訴えることができ、緩和できる。	痛みが我慢できる程度で歩行ができる。	安心して退院できる。	
到達目標	安心して検査を受けることができる。		術後、順調に回復する。	術後、順調に回復し、歩行ができる。	退院できる	
説明指導	外来で検査の説明が行われていない際は、医師より説があり、同意書を頂きます。 入院までの経過や症状についてうかがいます ●入院時以下の物をお預かりします □入院申込書・確認書 □自宅で内服されていた薬	・(:)に 1 階×線 T V 室へ向かいます。 ・ご家族には検査中、救急外来待合室でお待ちいただきます ・貴重品は金庫に入れ、鍵はなくさないようご家族の方をお願いします 入れ歯・ヘアピン・指輪・化粧・マニキュア・コンタクトレンズ・ウィッグ・金属類は外しておいて下さい。 !		腹痛や嘔気・嘔吐がある際は、看護師にお伝えください 	回診後、医師の許可ができれば退院できます 	予想される退院日 月 日 退院おめでとうございます。 退院後に必要となる保健医療サービスまたは福祉サービス
治療処置検査	追加の検査が必要な場合はお知らせします		・帰室後、心電図モニターを装着し、酸素吸入を開始します。 ・採血を行います。(30 分後)	・採血とレントゲンの検査があります 1 0 時に、心電図モニターと酸素吸入を終了します。 (医師の指示があれば当日終了する事もあります。	退院指導計画書 ※退院後の治療計画	
薬補液注射	現在内服している薬の確認をします 検査前後の内服薬について説明します	・朝の内服 (有・無) ・点滴を 2 カ所刺します。	・点滴を正確に滴下する機械を使用するのでトイレに行く際は、コンセントのプラグを抜いてください。	点滴は ERCP 後 6 日目 (/) まで続きます。	次回受診前に腹痛や発熱がある場合には早めに受診して下さい	
安静活動	病院内であれば自由に歩いてもらえます 転倒転落スコアシートにて評価し、そのレベルに準じた看護を提供します。	検査までは自由に歩いて結構です。	医師から指示があるまではベッド上で安静となります	病院内は自由に歩いてもらえます。 ふらつきがある際や、検査後初めて歩行する場合は看護師と歩くようにしましょう。	※退院後の留意点 ・揚げ物など、脂っこい食事は控えましょう。 ・次回受診までは、シャワー浴までとし、受診時に入浴の確認をしてください。	
食事	夜 9 時までは水分は摂取できます 。 (夜 9 時以降は、飲んだり食べたりは一切できません) 特別な栄養指導の (有・無)	絶飲食です。飲んだり食べたりできません。	採血後、医師から許可ができれば飲水可能です。	ERCP 後 3 日目 (/) の昼食より重湯が開始します。 2 食毎に食事形態が変更していきます。		
排泄	病棟のトイレをご使用ください		採血後、医師から許可ができればトイレ歩行できます。	病棟のトイレをご使用ください。		
清潔	入浴していただきます	朝、蒸しタオルで清拭します		朝、蒸しタオルで清拭します 医師の許可後シャワー浴が可能です	次回外来受診日は予約票を参照してください。	
検温その他	1 回 (午後 2 時)	4 回 (6 時・10 時・14 時・20 時)		3 回 (6 時・14 時・20 時)	1 回 (14 時)	

※ 入院期間・退院時期は現時点で予想されるものです。 上記の説明を受けて、同意します。 本人または家族のサイン【 】

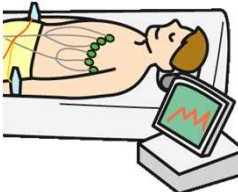
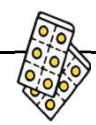
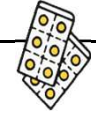
達成目標

- ①不安なく検査・治療を受けることができる
②検査後の合併症もなく、順調に経過することができる

	入院～検査前日(/)	検査当日(/)検査前		検査当日 検査後	検査後1～4日目		5日目	患者さんおよび家族への説明
目標	納得して検査に臨むことができる。	不安が言える。		苦痛な症状を訴えることができ、緩和できる。	飲水や食事開始後、出血や腹痛なく経過できる。		安心して退院できる。	
到達目標	安心して検査を受けることができる。			治療後、順調に回復する。	検査後、順調に回復し、歩行ができる。			
説明指導	検査についての説明があります(:) 説明後に承諾書をお渡しします 入院までの経過や症状についてうかがいます ●検査前の説明・リインフォース	・(:)に内視鏡室へ向かいます ・ご家族には内視鏡室の控室でお待ちいただきます。付添いは自由です。 ・貴重品は金庫に入れ、鍵はなくさないよう管理をお願いします。 入れ歯・ヘアピン・指輪・化粧・マニキュア・コンタクトレンズ・ウィッグ・金属類は外しておいて下さい。 			・検査後1日目(/)に出血の有無を確認するため、胃カメラの検査があります。(ストレッチャーで内視鏡室へ向かいます) 		医師より退院の許可があれば、退院となります。 	予想される退院日 月 日 退院おめでとうございます。 退院後に必要となる保健医療サービスまたは福祉サービス()
治療 処置 検査	・追加の検査が必要な場合はお知らせします	・ストレッチャーで内視鏡室に向かいます。 ・検査中は眠くなるような注射を使用します。(使用しない場合もあります)	・症状に合わせて、薬剤を使用します。 ・帰室後、心電図モニターと酸素を装着します。	・検査後1日目(/)、朝に採血とレントゲンの検査があります。異常がなければ心電図モニターと酸素が終了になります。 ・腹痛、吐血、下血といった症状がある際は看護師に相談して下さい。		退院指導計画書 ※退院後の治療計画 次回受診前に強い腹痛や吐血・下血がある際は、消化器内科外来に相談の上、受診してください。		
薬 補液 注射	・現在内服している薬の確認をします 検査前後の内服薬について説明します	・朝の内服 (有・無) ・右手に点滴をします	・検査後の内服薬があります。(看護師がお持ちします。)	・持参された内服薬については、指示通りに内服して下さい。 ・検査後3日目(/)より追加の内服があります。 ・検査後4日目(/)の朝10時まで点滴をして、針をとります		※退院後の留意点 食事は、消化の良い物を良く噛んで、時間をかけて食べるようにしましょう。 次回外来受診日は退院の際にお渡しする予約票を参照してください。		
安静 活動	病院内であれば自由に歩いてもらえます 転倒転落スコアシートにて評価し、そのレベルに準じた看護を提供します。	・検査前まで自由に過ごせます。	・トイレ以外はベッドで安静にしましょう。	・確認の胃カメラ後、病棟内であれば歩行可です。				
食事	夜9時までは水分は摂取できます。 (夜9時以降は、飲んだり食べたりは一切できません) 	絶飲食です。飲んだり食べたりできません。 	・指示された内服以外は絶飲食です。	・確認の胃カメラ後、異常なければ飲水開始となります。 ・食事は、経過良好であれば検査後3日目(/)より重湯から開始となります。徐々にご飯やおかずが固くなります。 ・入院中、病院食以外の食べ物は摂取しないようにしましょう。 				
排泄	病棟のトイレをご使用ください		・目が覚めればトイレ歩行できます。(初回は看護師と歩いてください)	・排便があった際は、色や硬さを看護師にお伝えください。 ・黒い便や赤い便があった際は、流さずに看護師に見せてください。 				
清潔	入浴していただきます	朝、蒸しタオルで清拭します		・検査後3日目(/)よりシャワー浴が可能です。				
検温 その他	入院時	4回(検査前・検査中・検査後・20時)		検査後1日目まで4回 (6時・10時・14時・20時)		その後2回 (6時・14時)		

※ 入院期間・退院時期は現時点で予想されるものです。 上記の説明を受けて、同意します。 本人または家族のサイン【 _____ 】

心臓カテーテル検査入院診療計画書及び
オリエンテーション用紙

7 階病棟		号室		平成 年 月 日	主治医	担当医	患者名	病名
日付	入院当日(検査前日) /	カテーテル検査(手術) 当日 (検査前) /	カテーテル検査(手術)当日 (検査中)	カテーテル検査(手術)当日 (検査後)	カテーテル検査(手術) 翌日～退院まで			
安静度	自由	検査前まで自由	あお向け	☐ あお向けで3時間安静(変更となる場合もあります。)	主治医の許可後、安静が解除となります。			
食事	☐ 心臓病食 ☐ カロリー制限食	・検査前の食事は止めになります。 (☐ 朝 ☐ 昼) 食は食べられません。 ☐ 検査後は()食までおにぎり食となります。		・水分は検査直後から可能です。 ・お食事は検査1時間後からおにぎり食が出ます。 ・時間になったら看護師がお持ちします。	・退院後は入院前の食事で可能です。 ☐ 必要時・希望時、栄養指導があります。			
検査	☐ 身長、体重 ☐ 血圧、脈拍、体温、酸素飽和 ☐ 胸部レントゲン、心電図、血液検査など。 ☐ 24時間心電図 ☐ 心臓エコー 	・御家族の来院時間 (時 分) ・検査前に、血圧・脈拍・酸素飽和度・体温を測定します。 ・ (時 分) から検査しますので、15分前に看護師が検査室(B1F)にご案内します。 ・検査用ベットに上がって病衣を脱ぎ仰向けにねます。	・専門のスタッフが対応します。 足の付け根を消毒し清潔な布を掛けま す。手は布の上に出さないで下さい。 ・造影剤という薬が身体の中に入ると熱い 感じがしますが心配ありません。 ・何かありましたら、声をかけて下さい。	☐ 検査後、必要な場合は心電図を取ります。 				
内服 点滴	☐ 外来処方薬継続 ☐ 不眠時、お薬があります。 	☐ お薬は内服して下さい。その他 () ☐ 検査開始の2時間前に、点滴を開始します。 病衣に着替え排泄を済ませてお待ち下さい。	・検査中も点滴はしたままです。 ・必要に応じて内服薬の追加などがあり ます。		・追加の処方がある場合は、服薬指導を 病棟薬剤師が行います。 ・医師回診後に、点滴を抜去します。			
排泄	☐ 病棟内トイレ可 	・検査前までは、トイレ歩行可能です。 ☐ 尿器 ☐ 尿管カテーテル		☐ 検査後は、1時間後からトイレ歩行が可能となります。 (尿管カテーテルが入っている時は、抜きます。) ☐ 検査後は翌日までベッド上となります。	・医師回診後に尿カテーテルを抜きトイレ 歩行が可能となります。			
清潔		・検査前にタオルで身体を拭いて頂きます。						
処置	☐ 足の甲の動脈に印を付けます。	・足の甲の動脈の触知の確認をします。 ☐ 検査前に尿道カテーテルを入れます。	・心臓カテーテル検査の結果で、必要で あれば経皮的冠動脈形成術を施行し ます。 ・治療した場合は、心電図モニターを装着 し観察します。 ・動悸や手足のしびれなど異常を感じたら すぐにお知らせ下さい。	・検査後1・2・3時間毎に観察に伺います。 ☐ 検査した側の手首に、圧迫止血の為のバンドを翌朝 までします。徐々に緩めます。 ☐ 検査した側の足に、圧迫止血の為のテープで固定します。 ☐ 弾性ストッキングを着用します。 ☐ 検査後3時間後は、寝返りが可能となりますので 看護師が声をかけます。	・主治医が回診時、足の付け根または 手首の消毒をします。出血が無ければ 固定テープまたは、バンドを外します。 ・主治医回診時、心電図モニター装着、 弾性ストッキング着用している時には 外します。			
指導	・主治医より検査の説明があります。 (承諾書のサイン) ・ご家族の同席が必要です。	・ご家族の方は、検査の30分前までに来院して いただくようお願いします。 ・入れ歯、指輪、ヘアピン、時計などは外してくだ さい。お化粧品は落として下さい。 ・貴重品は御家族へ預けて下さい。	・ご家族の病棟待機が必要となります。 検査が終了したら、医師から検査結果 について説明がありますので必ず病棟 での待機をお願いします。 説明は、B1Fで行いますので看護師が ご案内します。	(下肢の場合) ☐ 検査後3日間は膝を深く曲げる動作を避けましょう。 ☐ シャワーは翌日から可能です。 ☐ 創部の痛み、赤くなったり、腫れてきた場合は、寿泉堂綜合病院7階病棟にご連絡下さい。(024-932-6363)	(腕の場合) ☐ 検査後3日間は検査した手で重い物を持つ ことを避けて下さい。 ☐ 検査後2日目より入浴可能です。			
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)							
総合的な機能評価	病状の安定が見込まれた後、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明いたします。							
患者さん及びご 家族への症状 等の説明	・心臓カテーテル検査による精査目的の入院です。検査にて狭窄部があれば、カテーテル治療を施行します。 検査や治療については別紙で主治医より御説明致します。 ・入院期間は2～5日程度を予定しています。わからない事や不安な事があれば、いつでも聞いて下さい。 			・退院計画書をお渡しします。				

担当看護師

私はこの表にある入院診療計画書に関する説明を受け同意します。

患者又は、御家族のサイン

寿泉堂綜合病院

寿泉堂総合病院 入院診療計画書 総合診療計画書

□急性肺炎 □急性咽頭炎 □急性喉頭炎 □気管支肺炎 □細気管支炎 □急性扁桃炎 □尿路感染症

※ この予定表はおおよその目安です。患者様の状態により、予定が変更になることがありますのでご了承下さい。ご不明な点は遠慮なくスタッフにご相談下さい。

様		担当医	担当看護師	担当薬剤師
入院当日 (/)		2日目～	退院前日～退院日	
説明	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 入院診療計画書 ☐ 入院申込書 □駐車場の確認 ☐ 付添い許可願 ☐ ベッド転落予防についての説明 ☐ 受け持ち看護師自己紹介	お子様はちょっと目をはなした瞬間にベッドから落ちてしまいます。ほんの少しなら…と思わず、 必ず上まで柵を上げて下さい	・退院後生活の注意点を説明します ☐ 担当医から退院時に説明があります。 ☐ 看護師より退院時の書類の説明があります。 ☐ 薬剤師より服薬の説明があります。	
治療	☐ 点滴をします ☐ 1日 () 回 吸入をします	子どもは、活動的で血管がもろいために点滴がもれやすいです。看護師が頻回に確認にうかがいます。 夜間も確認 していますのでご了承下さい。 点滴のところが腫れてきたり、痛がったり したらすぐにお知らせ下さい。ご協力お願いいたします。		
薬剤	☐ 抗生剤の注射をします ☐ 内服薬 ＊内服薬が飲めない場合にはお知らせ下さい ＊入院前にお薬を処方されている方はお知らせ下さい	☐ 服薬相談（薬剤師より） ＊スポイトが必要な方は、お知らせ下さい		
処置	☐ 発熱時：氷枕などで冷やします ＊解熱剤を使用することもあります ☐ 体の中の酸素の状態を調べます ＊状態により酸素を使うこともあります ☐ 鼻水・鼻づまりがひどいときは、吸引します	 じょうずにお薬飲めたら、うちに早く帰れるよ♪		
検査	☐ 血液検査 □微生物検査 ☐ 胸部レントゲン □ウイルス検査 ☐ 尿検査 □便検査			
安静	☐ ベッド上で安静です □部屋から出ないで下さい ☐ トイレまで歩けます □プレイルームで遊べます ☐ お部屋でおまる □ポータブルトイレを使います			
食事	☐ 普通食 □おかゆ □お休み □離乳食 □ミルク、母乳	☐ 特別な栄養管理の必要性なし		
清潔	熱がある、点滴をしているなどの場合には入浴できませんので 毎朝、温かいタオルで清拭します。			
達成目標	☐ 不安なく入院生活を送ることができる ☐ 普段通り、もしくはそれに近い食事量になる	☐ 発熱なく、検査結果が改善し退院できる □咳、鼻水などの症状が改善する ☐ 退院後の生活の注意点を聞き、理解できる		



<退院指導計画書>

- ①次回再診はありません。
- ②お風呂は本日から結構です。
- ③食事は無理せず消化の良いものから食べさせてください。
- ④人の多い所への外出は避けてください。

お大事にね★

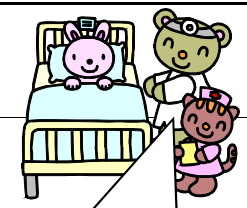


10階病棟 号室
様

主治医

担当医

担当看護師
担当薬剤師

	入院当日（ / ）	2日目以降～	退院前日～退院日
説明	- 入院時オリエンテーション □入院診療計画書 □入院申込書 □駐車場の確認 □付添い許可願 □ベッド転落予防についての説明 □受け持ち看護師自己紹介	* お子様はちょっと目をはなした瞬間にベッドから落ちてしまいます。ほんの少しなら…と思わず、必ず上まで柵を上げて下さい * 夜間も、点滴やベッド柵の確認のために、お部屋にうかがいます	- 退院後生活の注意点を説明します（退院日より前に行く場合もあります） □担当医より説明 □看護師より説明 □退院療養計画書(上記の説明を紙に書いたもの)をお渡しします
治療	☐ 点滴をします ☐ 1日（ ）回、吸入をします ☐ 抗生剤の注射をします	【病気のお話：その1】 * インフルエンザは高熱が出るので心配だと思いますが、熱が出るのは、インフルエンザウイルスを体から追い出そうとして免疫が正常に働いているためです。解熱剤で無理に熱を下げようとせず、クーリングをしてみましょう。 * 子どもさんは脱水になりやすいので、点滴などの入院管理が必要です。 * 入院期間は、おおよそ3～7日間程度ですが、個人差があります。	【病気のお話：その2】 * インフルエンザで高熱がある時は、「熱せんもう」といわれる異常行動が出ることがあります。いつもと様子が違う時はスタッフにお知らせ下さい。 また、子どもさんからなるべく目を離さないようにしてください。 * 解熱後、2日間は学校・幼稚園などはお休みし、自宅で安静にしてください
薬剤	☐ 内服薬 ☐ 抗インフルエンザ薬 * 内服薬が飲めない場合にはお知らせ下さい * 入院前にお薬を処方されている方はお知らせ下さい	☐ 服薬相談（薬剤師より） * スポイトが必要な方はお知らせ下さい	☐ 薬剤師より退院後のお薬の説明
処置	☐ 熱がある時は氷枕などで冷やします（クーリング） ☐ 体の中の酸素の状態を調べます（酸素の状態が低い時は、酸素を使用する場合もあります） ☐ 鼻水・鼻づまりがひどいときは、吸引します		【退院のめやす】 * 高熱・頭痛・体のだるさ・咳などの症状が改善すること * 食事ができること * 検査データが改善し、医師より退院の許可があること
検査	☐ 血液検査 ☐ 胸部レントゲン ☐ 尿検査	☐ 微生物検査 ☐ ウイルス検査 ☐ 便検査	☐ 検査がある時はお知らせします ・胸部レントゲン ・血液検査 など
安静	★感染予防のため、お部屋から出ないで下さい ☐ おむつ ☐ お部屋でおまる（またはポータブルトイレ）	* インフルエンザは感染力が強いです。感染を防ぐため、お部屋から出ないで下さい。また、ご家族の方もマスクを着け、面会やドアの開閉は最小限にして下さい。ご家族の方にも、『高熱・頭痛・体のだるさ』などの症状がありましたらお知らせください。	 はやくうちに かえるように いっしょにがんばろうね！
食事	☐ 普通食 ☐ おかゆ ☐ 離乳食 ☐ ミルク、母乳 ☐ お休み ※アレルギーがある時はお知らせください 特別な栄養管理の必要性 無	☐ 栄養相談（栄養士より）	
清潔	点滴をしている間は入浴できませんので、かわりにからだを拭きます		
達成目標	☐ 不安なく入院生活を送ることができる ☐ 普段通り、もしくはそれに近い食事量になる	☐ 高熱・頭痛・体のだるさ・咳などの症状が軽減する ☐ 退院後の生活の注意点を聞き、理解できる	

寿泉堂 綜合病院

入院診療計画書（治療・看護・服薬）

平成 年 月 日

患者名 _____ 様 病 名 大腸癌化学療法パス 病室 _____

主治医 _____ 担当看護師 _____

担当医 _____ 担当薬剤師 _____

今回の治療に対する先生からの説明（症状説明）

・治療内容 ☐FOLFOX ☐FOLFIRI

・治療目的 ☐転移・再発の治療のため ☐補助化学療法

・分子標的薬 ☐あり ☐なし

		入院日 平成 年 月 日 入院当日 外科外来受診後に入院となります。		入院 1 日目 月 日		入院 2 日目退院目標 月 日		3 日目 月 日		退院指導計画（退院に向けて）	
達成目標		☐ 治療に対する理解がある。 ☐ 不安なく治療が受けられる。		☐ 副作用の出現や増強がない。		☐ 副作用の出現や増強がない。		☐ 副作用の出現や増強がない。 ☐ 予定通り治療が終了する。		<退院後の治療計画> 退院おめでとう ございます！ ・抗癌剤による白血球の減少が予測されるため、感染予防のために手洗いうがい等を行なってください。 ・食欲不振が生じた場合も、水分はこまめに摂取しましょう。 ・発熱や抗癌剤の副作用が強い際は、当院外科外来に連絡の上受診してください。	
説明指導		主治医…外来にて治療についての説明があります。 看護師 ・身長・体重を計ります。 ・入院までの経過や症状についてお聞きします。 ・当日の治療についての説明があります。 ・分からないことは気軽にお聞きください。				9 時半～1 0 時半頃、回診があります。 お部屋でお待ちください。		9 時半～1 0 時半頃、回診があります。 医師の指示があれば退院できます。			
				治療開始後、副作用が出現した際は看護師にお知らせください。							
		特別な栄養管理の必要性		☐ 無 ☐ 有							
治療	治療処置	腕かポートに点滴を刺し、抗癌剤の点滴治療を行います。		輸液ポンプを使用します。 トイレの際は、コンセントのプラグを抜き、一緒に歩行してください。		輸液ポンプのアラームがなった際は、ナースコールで教えてください。		抗癌剤終了後、点滴を抜きます。			
	検査	追加の検査がある際はお知らせします。									
服薬	点滴薬	現在内服している薬を確認します。 内服薬は継続して内服してください。		副作用の出現時は医師の指示のもと、薬を使用します。		点滴は、引っ張ったりしないようにしましょう。 点滴刺入部に痛みや腫れが出現した際は、看護師にお知らせください。					
	食事	普通食 治療食 食事制限がない際は、好きなものを食べて頂いて構いません。		食欲がない際は、栄養士に相談し変更も可能です。							
看護	安静	病院内であれば自由に歩行してもらえます。		転倒転落スコアシートにて評価し、そのレベルに準じた看護を提供します							
	清潔排泄	毎朝、タオルをお渡しします。 病棟のトイレをお使いください。 トイレ使用後は、2 回流すようにしてください。									
	検温	抗癌剤開始時は、副作用の早期発見・早期対処のために何度も検温します。				2 回(6 時・1 4 時) 					

化学療法の副作用について
悪心・嘔吐・食欲不振・白血球減少（抵抗力の低下）・下痢
皮膚障害（爪や指先が黒くなる）・手足のしびれなど
氷水など冷たい飲み物は控えめにしてください。

私は、現在疾病の診察に関して、上記説明を受け、十分に理解した上で治療を受けることに同意します。
【本人・家族】 _____

次回の治療予定日は、予約票を参照してください。
受付け後に採血をとり、外科外来を受診してください。
その後、入院が決定します。
渡された書類を持ってきてください。

達成目標

①不安なく手術を受けることができる

②術後の合併症もなく、順調に経過することができる

	入院～手術前日(/)	手術当日(/)手術前		手術当日 手術後	術後 1 日目	術後 2 日目	術後 10 日目以降	患者さんおよび家族への説明
目標	納得して手術に臨むことができる	不安が言える		苦痛な症状を訴えることができ、緩和できる	・痛みが我慢できる程度で歩行ができる ・排ガス（おなら）がある		安心して退院できる	
到達目標	安心して手術を受けることができる			・全身状態が安定する ・出血や痛み、苦痛がない	・術後、順調に回復し、歩行ができる ・出血やガーゼの汚染がない ・水分・食事開始後に嘔気や腹痛がない		退院できる	
説明指導	手術についての説明があります（ ： ） 説明後に手術承諾書をお渡しします 入院までの経過や症状についてうかがいます ●手術前の説明・リインフォ □術前訪問(手術室看護師) □手術承諾書にサインの後に看護師に提出してください ●入院時以下の物をお預かりします □必要物品：T 字帯 1 枚 腹帯・バスタオル・フェイスタオル 各 2 枚ずつ □入院申込書 □手術承諾書・麻酔承諾書 □静脈血栓予防の説明(別紙参照) □弾性ストッキングのサイズの測定をします	・(：)に手術室へ向かいます ・ご家族には手術中、4 階控室でお待ちいただきます ・貴重品は金庫に入れ、鍵はなくさないようご家族の方をお願いします 手術に向けての準備 □化粧・マニキュアはしない □爪を短く切る □長い髪はゴムで 2 つに結ぶ □眼鏡・コンタクトを外す □時計・指輪・ピアス・ヘアピン等の貴金属類を外す □ウィッグや貼り薬を外す □湿布等の貼り薬をはがす □病衣・ショーツのみに着替える □弾性ストッキングを履く 手術中に、お腹と（場合によっては）鼻に管が入ります 手術後は、心電図モニターや酸素マスクを装着します 手術後は、静脈血栓予防のため、足にフットポンプを装着します			・回診後、自室へ戻ります。その後は、痛みを我慢できる程度でどんどん活動してください ・腸の動きを観察していきます。排ガスが出たらお知らせください ・トイレの歩行など、問題なく活動ができれば、ストッキングも脱ぎます ・回診後にフットポンプを外します		創部状態や食事開始後に問題なければ退院できます	<予想される退院日> 月 日 退院おめでとうございま す。 退院後に必要となる保健 医療サービスまたは福祉 サービス
治療 処置 検査	・手術の準備のため、爪切りと手術する部分の除毛を します ・追加の検査が必要な場合はお知らせします	・(：)浣腸をします 排便の有無を教えてください		・手術後に足の付け根から採血をし ます。胸のレントゲンを撮りに来ま す ・痛い時には痛み止めを使いま す ・発熱時は氷枕や解熱剤を使用しま す ・吐き気がある時は、吐き気止めの注射 をします	・術翌日の朝、採血があります ・毎朝、回診が 9:30 頃にあります。ガーゼ交換などを行います （場合により時間が変わることがあります） ・排液の量をみて鼻とお腹の管を抜きます ・術後 7 日目に抜糸（抜糸）を行ない ます		<退院指導計画書> ※退院後の治療計画 次回受診前に発熱や痛み が強い場合には早めに受 診してください	
薬 補液 注射	・現在内服している薬の確認をします 薬剤師より手術前後の内服薬について説明します ・20 時頃に下剤と睡眠剤を内服します	・朝の内服（ 有・無 ） ・点滴をします ・手術室へ出発する前に肩に注射を します(しないこともあります)		・点滴は手術後 6 日目まで 続きます。 ・手術後、痛み止めの注射を 持続で行うことがあります。	退院前に薬剤師より内服薬について説明があります		※退院後の留意点 消化の良い食べ物の摂取 を心がけ、排便コントロ ールを行なってください	
安静 活動	病院内であれば自由に歩いてもらえます	注射後は、ベッド上で安静にしてく ださい		術後は 9 3 0 号室で 経過観察しま す ベッド上で安静になります	回診後、元の病室へ戻り、歩行ができます		次回外来受診日は 平成 年 月 日（ ） （ ： ） ※診療予約票と診察券、 保険証を忘れずお持ちく ださい。次回受診時に、 予約票を渡す際には、再 来受付機での予約も行な ってください	
食事	・夜 9 時までは水分は摂取できます （夜 9 時以降は、飲んだり食べたりは一切 できません） ・特別な栄養指導の（ 有・無 ）	絶飲食です。飲んだり食べたりでき ません			・手術後 2 日目より水分が開始します。 ・手術後 4 日目より水気が多いお粥から開始されます。 毎日ご飯が硬くなり、6 日目の昼食には普通のお粥が 出ます。			
排泄	・病棟のトイレをご使用ください ・毎朝 6 時に 1 日の排尿・排便回数を聞きます	手術時に、膀胱に管を入れます			管を抜きます(抜いた後、初めの尿が出たら教えて下さい) トイレを使用してください			
清潔	入浴していただきます	朝、蒸しタオルで清拭します			・朝、蒸しタオルで清拭します ・創部に異常がなければ、シャワー浴が可能になります			
検温 その他	1 回（午後 2 時）	（術前：午前 6 時・1 0 時/術後：4 時間ごと）			4 回（午前 6・10 時 /午後 2・8 時）	術後 2 日目～3 回(午前 6/午後 2・8 時) 術後 6 日目～2 回（午前 6/午後 2 時） 術後 8 日目～1 回（午後 2 時）		

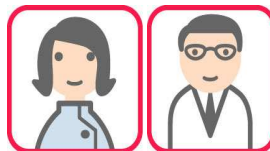
※ 入院期間・退院時期は現時点で予想されるものです。 上記の説明を受けて、同意します。 本人または家族のサイン【 】

患者名 _____ 様 _____ 主治医 _____

手術名	腹腔鏡下胆のう摘出術	担当医	病室	担当看護師	担当薬剤師
-----	------------	-----	----	-------	-------

達成目標

- ①不安なく手術を受けることができる
②術後の合併症もなく、順調に経過することができる

	入院～手術前日(/)	手術当日(/)手術前		手術当日	手術後	術後1日目	術後2日目	3日目	患者さんおよび家族への説明
目標	納得して手術に臨むことができる。	不安が言える。		苦痛な症状を訴えることができ、緩和できる。		痛みが我慢できる程度で歩行ができる。	安心して退院できる。		
到達目標	安心して手術を受けることができる。			術後、順調に回復する。		術後、順調に回復し、歩行ができる。		退院できる	
説明指導	手術についての説明があります(:) 説明後に手術承諾書をお渡しします 入院までの経過や症状についてうかがいます ●手術前の説明・オリエンテーション □術前訪問(麻酔医・手術室看護師) □手術承諾書にサインの後に看護師に提出してください ●入院時以下の物をお預かりします □必要物品：T字帯・腹帯・バスタオル・フェイスタオル 各一枚ずつ □入院申込書 □手術承諾書・麻酔承諾書 □静脈血栓予防の説明(別紙参照)	・(:)に手術室へ向かいます ・ご家族には手術中、4 階控室でお待ちいただきます ・貴重品は金庫に入れ、鍵はなくさないようご家族の方をお願いします 入れ歯・ヘアピン・指輪・化粧・マニキュア・コンタクトレンズ・ウィッグ・金属類は外しておいて下さい。  ・手術後は、静脈血栓予防のため、足にフットポンプを装着します ・手術後に足の付け根から採血をします レントゲンを撮りに来ます				・回診後、自室へ戻ります。その後は、痛みを我慢できる程度でどんどん活動してください ・トイレの歩行など、問題なく活動ができれば、ストッキングも脱ぎます。 ・回診後にフットポンプを外します 	回診後、問題なければ退院できます 	予想される退院日 月 日 退院おめでとうございます。 退院後に必要となる保健医療サービスまたは福祉サービス 	
治療処置検査	・手術の準備のため、爪切りと手術する部分の除毛をします。 追加の検査が必要な場合はお知らせします	・(:) 浣腸をします ・排便の有無を教えてください	・痛い時には痛み止めを使います ・発熱時は氷枕や解熱剤を使用します ・吐き気がある時は、吐き気止めの注射をします	・回診が 9:30 頃にあります (場合により時間が変わることがあります) ・回診時創部の状態を確認します		退院指導計画書 ※退院後の治療計画 次回受診前 に痛みや腫れが強い場合には早めに受診してください			
薬補液注射	・現在内服している薬の確認をします 手術前後の内服薬について説明します ・20 時頃に下剤・眠剤を内服します	・朝の内服 (有・無) ・点滴をします ・手術室へ出発する前に肩に注射をします(しないこともあります)	・点滴は翌朝までつづきます	・痛み止めの内服が始まります (薬剤師から説明があります) 本日の夕方まで点滴をして、針を抜きます		※退院後の留意点 入浴が可能になります 外来受診後から入浴ができます 創の絆創膏は、剥がれたら何も貼らず大丈夫です。 次回外来受診日は予約票を参照してください。			
安静活動	病院内であれば自由に歩いてもらえます 転倒転落スコアシートにて評価し、そのレベルに準じた看護を提供します	・注射後は、病室内で安静にしてください	術後は 930 号室で 経過観察します ベッド上で安静になります	・回診後、元の病室へ戻り、歩行ができます					
食事	夜 9 時までは水分は摂取できます 。 (夜 9 時以降は、飲んだり食べたりは一切できません)  特別な栄養指導の (有・無)	絶飲食です。飲んだり食べたりできません。 		・昼から食事が始まります 					
排泄	病棟のトイレをご使用ください	手術時に、膀胱に管を入れます。	管を抜きます(抜いた後、初めの尿が出たら教えてください) トイレを使用してください						
清潔	入浴していただきます	朝、蒸しタオルで清拭します			朝、蒸しタオルで清拭します 回診後シャワー浴が可能です				
検温その他	1 回 (午後 2 時)	4 回 (午前 6 時・10 時/午後 2 時・6 時)		2 回 (午前 7 時/午後 2 時)		1 回 (午後 2 時)			

※ 入院期間・退院時期は現時点で予想されるものです。 上記の説明を受けて、同意します。 本人または家族のサイン【】

寿泉堂綜合病院
入院診療計画書 及び 同意書 <病名 第()椎圧迫骨折>
()号 様

主治医

担当医

担当看護師

ソーシャルワーカー

担当薬剤師

	入院日(月 日)	確定診断	香久山病院転院	退院診療計画書
達成目標	痛みや不安を伝え和らげることができる			退院おめでとうございます。
説明 指導	☐ 医師からの説明があります ☐ 書類の提出をして下さい ☐ ソーシャルワーカーが介入します	☐ 香久山病院申込	香久山病院転院日 < 月 日 時 分 発 > ☐ ストレッチャー ☐ 車椅子 【ご家族の方へ】 ・出発の1時間前までにお越し下さい。 ・転院時の衣類を準備して下さい。 ・印鑑と保険証を香久山病院へご持参下さい。	【退院後の治療計画】 ①香久山病院にてリハビリの継続を行います。 【退院後の療養上の留意点】 ①コルセットは3か月着用して下さい。 ②転倒・転落に注意して下さい。 ③骨が弱い可能性があります。 他の場所の骨折にも注意して下さい。 ※骨粗鬆症の治療については、ご相談下さい。
治療 処置	☐ 血栓予防のストッキングを着用します	☐ コルセットの作成 ☐ 完成日(/)		
検査	☐ レントゲン ☐ CT ☐ MRI ☐ 採血 ☐ 検尿	☐ 必要に応じて検査を行います		
薬 補液	☐ 薬剤師より持参薬の確認をします	☐ 必要に応じて点滴や内服薬が追加になります		
安静 活動	☐ ベッド上安静 ☐ ベッドアップ可()・ ☐ 不可 ☐ 車椅子移動可 ☐ リハビリを行います	☐ コルセット完成後、歩行練習を行います。		
食事	☐ 常食 ・ 特別食()			
排泄	☐ オムツ ☐ 尿管カテーテル			
清潔	☐ 清拭(毎日) ☐ ストレッチャーで入浴可(水) ☐ 朝・夕に洗面タオルをお渡しします			
検温	1検			
特別な栄養管理の必要性	有・無			
総合的な機能評価	病状の安定が見込まれたあと、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明致します。			

本人又は家族サイン

何かご要望がありましたら、随時ご相談下さい。

	入 院	手 術 前 日	手 術 当 日	術後1日	2日	3日	5日	7日	10日	2週間	3週間(退院または転院)			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日			
達成目標	□体調を整え、精神的にも落ち着いた状態で手術の準備ができる。		□痛みや苦痛を表現でき、和らげる事ができる。		□横向きから歩行までが安定し、徐々にリハビリの段階を進める事ができる。						□日常生活に自信を持ち、退院や社会復帰の準備を整える事ができる。			
説明指導	□担当医より説明 (入院診療計画・検査・手術について) □担当看護師によるオリエンテーション (入院・手術について) □薬剤師より内服薬の説明 □手術室看護師によるオリエンテーション □社会福祉課より、必要に応じ随時相談		□担当医より手術結果の説明 (家族へ) 		□リハビリスタッフより日常生活動作・歩行の仕方の説明 		手術後、気を付ける姿勢はパンフレットを参照して下さい					* 退院指導 □ 担当看護師 * 日常生活指導 * 外来受診の日時・方法 □ 薬剤師 * 服薬指導		
治療処置	□麻酔科問診表		 □AVインパルス開始・・・▼		□創状態の確認(抜糸まで適宜) ※創ドレーン1～2日で抜去  □抜糸							【退院指導計画書】 予想退院日 平成 年 月 日 退院後の治療計画 ＜次回外来受診日＞ 平成 年 月 日 () 時台 退院後の注意点 ・脱臼に注意して下さい ・無理をせず過ごして下さい ・転倒に注意して下さい		
検査	※手術前検査の確認 □採血 □検尿 □心電図 □下肢静脈エコー □呼吸器機能検査 □胸部レントゲン写真 □CT・MRI (必要時) □合併症の有無 有:関連科の受診		□手術後レントゲン □手術後採血 		□採血 (朝6時頃)  □下肢静脈エコー		□採血 (朝6時頃) □採血 (朝6時頃) 		□採血 (朝6時頃) □レントゲン □下肢静脈エコー 		□採血(朝6時頃) □レントゲン			
薬補液	□持参の内服薬の確認 □持参薬の中止薬の確認		□点滴(24時間持続) □抗生剤(手術前後)		□SB抜去後、抗凝固薬内服開始 									
安静活動	□院内フリー □歩行困難時:状態に応じ、車椅子・歩行器使用 □転倒転落スコアシートにて評価し、それに準じた看護を提供します。		ベット上安静 		□SB抜去後、状況に応じて車椅子離床から歩行可▼ □三角スポンジ使用  □リハビリ開始									
食事	□常食または特食() □21時以降絶食水 		□飲水開始 麻酔医指示 		□食事開始 (状態に応じて手術前の食事) 									
排泄	□痛みに応じて歩行可 (※便秘時は内服や浣腸で対処します) □手術後尿管留置 (車椅子移乗安定後など抜去)													
清潔	□シャワー・入浴可				□洗面介助(朝 夕) □全身清拭 □処置後、シャワー・入浴可 【女性:月・木】 【男性:火・金】 □洗髪可 									
検温	□入院して3日間は1日2回測定 (6時 14時)		□手術後2時間ごと測定		□手術後3日間は1日4回測定 (6時10時14時18時)			□手術後4日目以降は1日1回測定 (14時)						
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)													
総合的な機能評価	病状の安定が見込まれた後、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明いたします													

◎以下の事について看護師と確認して行います。

	入院・手術前日	手術当日	術後1日	術後2日	・ ・ ・	退院	退院指導計画	
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日		
達成目標	☐ 体調を整え、精神的にも落ち着いた状態で手術の準備ができる。		☐ 痛みや苦痛を表現でき、和らげる事ができる。		☐ 創部異常なく、痛みも落ち着き、退院できる。		<退院日> 月 日() <退院後の治療計画> ・ 当院の外来通院を継続して下さい。 <退院後の注意点> ・ 手に体重はかけないように注意して下さい。 ・ あまり無理はしないようにして下さい。 ・ 何かあれば早めに外来を受診して下さい。 <次回外来受診日> 月 日() 時台	
説明指導	☐ 担当医より説明 (入院診療計画・検査・手術について) ☐ 担当看護師によるオリエンテーション (入院・手術について) ☐ 薬剤師より内服薬の説明  ☐ 手術室看護師によるオリ ☐ 社会福祉課より、必要に応じ随時相談		☐ 担当医より手術結果の説明 (家族へ)  		☐ 退院指導  			
治療処置					☐ 処置   ☐ 浸出あれば処置			
検査	※手術前検査の確認 ☐ 採血 ☐ 心電図 ☐ 胸部レントゲン写真 ☐ 合併症の有無(有:関連科の受診)     ☐ 検尿 ☐ 呼吸器機能検査 ☐ CT(必要時)		☐ 手術後レントゲン ☐ 手術後採血		  			
薬補液	☐ 持参の内服薬の確認 ☐ 持参薬の中止薬の確認 		☐ 点滴 ☐ 抗生剤(手術前後)		☐ 点滴終了 			
安静活動	☐ 院内フリー ☐ 転倒転落スコアシートにて評価し、それに準じ看護を提供します。		☐ 麻酔から覚めたら歩行可 ☐ 痛みに応じて三角巾 		☐ 必要に応じてリハビリ開始  			
食事	☐ 常食 または特食()  ☐ 21時以降絶食水 		☐ 医師の指示時間より 飲水開始 (看護師がお腹の音を聞きにきます) 		☐ 食事開始 (状態に応じて手術前の食事)  			
排泄	☐ 歩行可 (※便秘時は内服や浣腸で対処します)							
清潔	☐ シャワー・入浴可				☐ 洗面介助(朝 夕) ☐ 全身清拭 ☐ 処置後シャワー可 シャワー・入浴日 (女性:月・木) (男性:火・金)			
検温	☐ 1日2回測定(6時 14時)		☐ 手術後2時間ごと測定 (状態に応じて4時間ごと)		☐ 手術後は1日4回測定 (6時 10時 14時 18時)			本人または家族サイン()
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)							
総合的な機能評価	病状の安定が見込まれた後、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明いたします					何かご要望がありましたら、随時ご相談ください。		

寿泉堂総合病院
入院診療計画書（治療・看護・服薬）

平成 年 月 日

達成目標

- ①不安なく手術を受けることができる
②術後の合併症もなく、順調に経過することができる
③母乳育児への理解と実践を啓蒙、実践する
④術後の身体の変化を受け止め、退院後の生活が理解できる
⑤



患者名 主治医 担当看護師 担当薬剤師

病名 妊娠 週 日 帝王切開（☐選択・☐緊急） 合併症 ☐妊娠高血圧症 ☐妊娠糖尿病 ☐

適応 ☐既往帝切 ☐骨盤位 ☐児頭骨盤不均衡 ☐胎児機能不全 ☐

		入院～手術前日 入院日 平成 年 月 日	手術当日 平成 年 月 日	術後 1 日目 月 日	2 日目 日	3 日目 日	4 日目 日	5 日目 日	6 日目 退院目標	7 日目	退院指導計画（退院に向けて）																			
説明指導		●術前の説明・オリエンテーション ・主治医・看護師 ・術前訪問（手術室スタッフ） ●入院時以下の物をお預かりします ☐必要物品 ☐入院申込書 ☐手術承諾書☐限度額証明書 ※何か、わからないことや不安はありませんか？		手術に向けての準備 ☐化粧・マニキュアはしない ☐爪を短く切る ☐長い髪はゴムで2つに結ぶ ☐眼鏡・コンタクトを外す ☐時計・指輪・ネックレス・ピアスヘアピンを外す ☐病衣・ショーツに着替える		排ガスを促します 早期に離床！ 手術後説明		面会時間 平日：お昼から夜 8 時 休日：午前 10 時から夜 8 時		退院の目安 ☐子宮収縮がいい。 ☐創部の状態が良い。 ☐貧血が改善してきている。 ☐乳房トラブルがない。 ☐赤ちゃんの体重が増えている		◎お会計概算 4 5 万円 （限度額申請・母児同室利用） ●退院後生活での注意について 担当助産師よりお話します ●生命保険の書類や診断書が 必要な方は病棟事務へ 申し出てください																		
		回診の際は、この計画書をお手元に置いておいて下さい																												
治療	治療処置	☐ 除毛		術前：弾性ストッキング、 術後：AV インパルス（血栓予防）				創部確認 （ボンドの方）				創部処置 （テープの方）		退院診察						＜治療計画＞ ①母乳育児の実践 ②助産師外来を活用しましょう ③産褥の過ごし方は 別パンフを参照 ＜留意点＞ ①母乳管理（乳緊・発熱に注意） ②子宮収縮（悪露・下腹部に注意） ③創部痛時は連絡ください 退院おめでとうございます										
	検査	☐ 超音波検査 追加検査がある場合があります		術後採血		採血 （朝 6 時頃）						採血、採尿 （朝 6 時）																		
服薬	点滴薬	●持参薬を確認します ●合わないお薬があれば教えてください ●点滴の説明をします		抗生剤 2 回 （入室前、20 時）		点滴 2 本 終了抜去 抗生剤 1 回（午前）		内服開始 （薬剤師より説明があります）										産後食事												
	食事	タより欠食 水分摂取は OK		朝より絶飲食		屋より流動食 タより 3 分粥		朝 5 分粥 昼 全粥 夕 全粥																						
看護	安静	安静度フリー		ベッド上安静		トイレ 歩行																								
	清潔排泄	シャワー可		朝洗顔（化粧はしないこと） 夜の洗面はお手伝いします 午前 7 時浣腸→術後膀胱カテーテル		朝夕洗面、清拭 （お手伝いします） ガーゼ抜去（午前）						創部トラブルなければ、医療用ボンド使用の方は 2 日目 テープ が貼付されている方は、4 日目処置後よりシャワーOK です。																		
	検温	1 回（午後 2 時） 血圧、体温、脈拍		術後 随時		1 日 3 回測定 （6・14・18 時）		1 日 2 回 （7・14 時）				1 日 1 回測定 （14 時）																		
赤ちゃん	検査	申し込み用紙を提出してください ☐ 黄疸チェック（毎日） ☐ ビタミンK 2 シロップ（生後 2 日目と 4 日目） ☐ 聴覚検査（生後 2 日目） ☐ 先天代謝異常検査（4 日目）																												
	母乳育児	□お産後すぐにおっぱいを吸わせてみましょう。 母乳育児スタートです。1 日 10 回以上の授乳が必要です。 赤ちゃんがおっぱいを欲しがるときに欲しがるだけあげてください。 1 回の授乳時間は 15～30 分、あるいはそれ以上かかる子もいます。 上手に飲んでる？ □乳輪部まで深く入っている。（おくちを大きく開けるまで待つて！） □赤ちゃんの顎が乳房に密着している。 □お母さんのからだと赤ちゃんのからだに密着している。 □吸われたとき痛くない。 □変な音がしない。 □下顎が大きくゆっくりと動いている。 *上手く吸い付けないときはお手伝いしますので呼んでください。										からだの変化 ・生後 1～2 日目に見られる黒い便を胎便といいます。移行便、普通便と変化します。 ・おへそには臍帯（へその緒）がついています。 生後 8～10 日間で取れます。 ・赤ちゃんはおっぱいを待てるだけのお弁当と水筒を持っています。 10%までの体重減少は生理的なものです ・生後 3 日目から見られる黄疸は生理的なものです。 5～6 日がピークで 2 週間以内に消失しますが 黄疸の検査で早めに治療することもあります。										指導 ●調乳 ●沐浴 ●家族計画・退院 水・土曜日 個別指導（退院前日） 月・火・木・金曜日 母乳外来（要予約） 電話予約で対応 助産師外来（要予約） 月・水・金曜日（午後） 1ヵ月検診は予約制になります。火曜日・金曜日 （産科は 時～・小児科は 13 時 30 分～14 時 30 分） 退院前日に予約日の確認をします。 本人・家族								

寿泉堂総合病院
総合入院診療計画書（治療・看護・服薬）

平成 年 月 日

号室

患者名 様

病 名 ☐子宮筋腫 ☐子宮内膜症

主治医

担当看護師

担当医

担当薬剤師

手術に向けての準備

- ☐化粧・ネイルはしない ☐爪を短く切る ☐長い髪はゴムで2つに結ぶ
- ☐眼鏡・コンタクトを外す ☐時計・指輪・ネックレス・ピアス・ヘアピンを外す
- ☐病衣・ショーツのみに着替える
- *術後1日目の着替えやナプキン、歯磨きのセットなどを床頭台に準備しておくとう便利です。
- *術後ベッド周囲にモニター類を配置します。お荷物はロッカーをご利用下さい。



		入院～手術前日 入院日 平成 年 月 日	手術当日 平成 年 月 日	術後1日目 月 日	2日目 月 日	3日目 月 日	4日目 月 日	5日目退院 目標 日	6日目 日	7日目 日	退院指導計画（退院に向けて）	
達成 目標		☐ 治療に対する理解がある ☐ 不安なく治療が受けられる	☐ 治療を順調に受けることができる ☐ 点滴もれがない	☐ 排ガスがある（おなら） ☐ 食事、水分が摂取できる ☐ 合併症もなく順調に経過できる		☐ 術後の身体の変化を受け止め、 退院後の生活が理解できる		面会時間 平日：お昼から夜8時まで 休日：午前10時から夜8時まで 面会カードをご利用下さい 手術日の面会時は「手術」の カードをご利用下さい 駐車券のハンコは入院日、手術日 以外はエレベータ前のハンコ 「病棟」を押し、1階で割引券を もらして下さい			◎お会計概算15～17万円 （限度額申請・個室利用） 限度額申請していない場合は 3割負担となります。 ●退院後生活での注意について担 当看護師よりお話しします ●生命保険の書類や診断書が 必要な方は病棟事務へ 申し出てください	
	説明 指導	●入院オリエンテーション ・術前訪問（麻酔医・手術室スタッフ） ●入院時以下の物をお預かりします ☐ 必要物品 ☐ 入院申込書 ☐ 限度額証明書 ☐ 手術承諾書（婦人科・麻酔科）	●術直後に医師よりご家族へ説明が あります。手術待合室にて待機を願 いします。	排ガスを促します 早期に離床！			手術後説明 （主治医） 退院指導 （看護師）					
転倒転落 について		〈転倒・転落について〉転倒・転落アセスメントスコアシートを使用し、必要な介入をします。 ・低床ベッドにする ・ナースコールを適切な位置に配置 ・センサーマットを使用 ・ベッド柵2点以上使用 ・転んだ場合は看護師に知らせ下さい。										
治療	治療 処置		術前：弾性ストッキング着用 術後：血栓予防装具装着	ドレーン抜去		退院診察・創部確認 （腫洗浄・エコー） （テープの場合は貼り替え）					＜退院後の治療計画＞ ☐ おおむね1週間は自宅安静期間と し、徐々にリズムをつかんでいっ て下さい。 ☐ 予約した外来日にお越し下さい。 ☐ ドレーン部抜糸のある方は 次回受診時抜糸します ☐ 紹介元（かかりつけ医）へ 逆紹介の方 情報提供書をお持ちになって 受診してください	
	検査	追加検査がある場合があります	術後採血 心電図モニター 酸素投与	採血（朝6時頃）	夕方までに排ガス（おなら）が ない時は追加治療が必要な場合 があります		採血（朝6時頃）					
服薬	点滴 薬	●持参薬を確認します （お薬手帳もご持参下さい） ●合わないお薬が あれば教えてください ●点滴の説明をします	点滴開始 ☐ 朝7時頃より （右手） ☐ 朝9時頃より 術前1時間前（ ）前投薬（筋肉注射） 抗生剤2回（手術中、20時頃） 鎮痛剤（手術直後、6時間後）	抗生剤1回（10時） 痛みが強い場合は お知らせ下さい	午前中に点滴を抜きます 抗生剤の内服開始（4日間） （薬剤師より説明があります） 水分開始と共に漢方薬の内服開始（腸を動かし腸閉塞を予防します）		●退院指導（副作用・服薬状況の確認） 			●退院指導（副作用・服薬状況の確認） 		
	食事	食事は昼食まで可（以降欠食） 水分摂取 ☐ 午前手術21時まで ☐ 午後手術翌朝8時まで 特別な栄養管理の必要性 無 ☒	絶飲食	昼より水分可 タ 流動	朝3分粥 昼5分粥 タ 全粥	全粥	常食					
看護	安静	安静度フリー	筋肉注射後はベッド上安静です	トイレ歩行可 *初めての歩行は看護師と一緒に付き添います							次回外来受診予約日は 退院前にお渡しする 予約券をご参照下さい。	
	清潔 排泄	臍の処置後シャワー可 20時下剤服用	朝洗顔（化粧はしないこと） 夜の洗顔はお手伝いします 午前6時半浣腸→術後膀胱カテーテル	朝夕洗面、清拭 （お手伝いします） → 抜去（清拭時）	点滴終了後シャワー浴が可能となります *看護師よりお伝えします							
	検温	（入院時・14・20時） 血圧、体温、脈拍	術後 随時	1日3回測定 （6・14・20時）	1日2回測定 （6・14時）		1日1回測定 （14時）					
今回の 手術		☐ 腹腔鏡下子宮全摘術 ☐ 腹腔鏡補助下腔式子宮全摘術 *詳しい手術内容に関しては、『同意・説明書』にて記載、説明します			退院後の自宅での過ごし方 ＜注意点＞ ☐ 発熱・下腹部痛・創部トラブル認める場合は連絡または受診してください ☐ 少量の出血が持続する場合がありますが、多い時、鮮血の場合は要注意です。連絡下さい。 ☐ おおむね入浴は退院後より、性交渉は2週間後より、許可できます。詳細は次回受診時に確認してください。 *退院後の注意点は退院前に渡されるパンフレットをご参照ください						(本人・家族)	

寿泉堂総合病院
総合入院診療計画書（治療・看護・服薬）

平成 年 月 日

号室

患者名 様

病 名 ☐卵巣嚢腫 ☐子宮内膜症 ☐多嚢胞性卵巣

主治医

担当看護師

担当医

担当薬剤師

手術に向けての準備

- ☐化粧・ネイルはしない ☐爪を短く切る ☐長い髪はゴムで2つに結ぶ
☐眼鏡・コンタクトを外す ☐時計・指輪・ネックレス・ピアス・ヘアピンを外す
☐病衣・ショーツのみに着替える
*術後1日目の着替えやナプキン、歯磨きのセットなどを床頭台に準備しておくとう便利です。
*術後ベッド周囲にモニター類を配置します。お荷物はロッカーをご利用下さい。



		入院～手術前日 入院日 平成 年 月 日	手術当日 平成 年 月 日	術後 1 日目 月 日	2 日目 月 日	3 日目退院目標 月 日	4 日目 月 日	5 日目 月 日	退院指導計画（退院に向けて）	
達成 目標		☐ 治療に対する理解がある ☐ 不安なく治療が受けられる	☐ 治療を順調に受けることができる ☐ 点滴もれがない	☐ 腹部症状がなく排ガスがある（おなら） ☐ 食事、水分が摂取できる ☐ 合併症もなく順調に経過できる		☐ 術後の身体の変化を受け止め、 退院後の生活が理解できる			◎ お会計概算 約 13～15 万円 （限度額申請・個室利用） 限度額申請していない場合は 3割負担となります。	
						面会時間 平日：お昼から夜8時まで 休日：午前10時から夜8時まで				
説明 指導		●入院オリエンテーション ・術前訪問(麻酔医・手術室スタッフ) ●入院時以下の物をお預かりします ☐ 必要物品 ☐ 入院申込書 ☐ 手術承諾書 （婦人科・麻酔科） ☐ 限度額証明書	●術直後に医師よりご家族へ説明があ ります。手術待合室にて待機をお願 いします。	排ガスを促します 早期に離床しましょう	手術後説明 （主治医） 退院指導 （看護師）	面会カードをご利用下さい 手術日の面会時は「手術」のカードをご利用下さい 駐車券のハンコは入院日、手術日以外はエレベータ 前のハンコ「病棟」を押し、1階で割引券をもらっ て下さい			●退院後生活での注意について 担当看護師よりお話しします	
転倒・転落 について		転倒・転落スコアシートを使用し、必要な介入をします。 ・低床ベッドにする ・ナースコールを適切な位置に配置 ・センサーマットを使用 ・ベッド柵2点以上使用・転んだ場合は看護師にお知らせ下さい。								●生命保険の書類や診断書が必要な方は 病棟事務へ申し出て下さい
治療 処置	治療		術前：弾性ストッキング着用 術後：血栓予防装具装着	(ドレーン抜去)		退院診察・創部確認 （腔洗浄・エコー） （テープの場合は貼り替え）				＜退院後の治療計画＞ ☐ おおむね1週間は自宅安静期間とし、 徐々にリズムをつかんでいって下さい。 ☐ 予約した外来日にお越し下さい。 ☐ ドレーン部抜糸のある方は 次回受診時抜糸します 紹介元（かかりつけ医）へ逆紹介の方 情報提供書をお持ちになって受診してく ださい 次回外来受診予約日は 退院前にお渡しする予約券を ご参照下さい。
	検査	追加検査がある場合は お知らせします	術後採血 心電図モニター 酸素投与	採血(朝6時頃)	昼食前までに排ガス（おなら）がない時は追加治療が必要な場合があります					
服薬	点滴	●持参薬を確認します （お薬手帳もご持参下さい） ●合わないお薬が あれば教えてください ●点滴の説明をします	点滴開始 ☐ 朝7時頃より （右手） ☐ 朝9時頃より 術前1時間前（ ）前投薬（筋肉注射） 抗生剤2回（手術中、20時頃） 鎮痛剤（手術直後、6時間後）	点滴2本 （終了抜去） 抗生剤1回(午前) 痛みが強い場合はお知らせ下さい ☐ 水分開始と共に漢方薬の内服開始(腸を動かし腸閉塞を予防します)	●退院指導(副作用・服薬状況の確認) 抗生剤の内服開始(4日間) (薬剤師より説明があります)					
	薬									
看護	食事	食事は昼食まで可（以降欠食） 水分摂取 ☐ 午前手術21時まで ☐ 午後手術翌朝8時まで 特別な栄養管理の必要性 無 ☒	絶飲食	朝より水分可 昼より流動 タ 3分粥	朝5分粥 昼 全粥 タ 全粥	常食				
	安静	安静度フリー	筋肉注射後はベッド上安静です	トイレ歩行可 *初めての歩行は看護師と一緒に付き添います						
	清潔 排泄	臍の処置後シャワー可 20時 下剤服用	朝洗顔(化粧はしないこと) 夜の洗顔はお手伝いします 午前6時半浣腸→術後膀胱カテーテル	朝洗面、清拭 (お手伝いします) 抜去(清拭時)	点滴終了後シャワー浴が可能となります *看護師よりお伝えします					
	検温	入院時・14時・20時 血圧、体温、脈拍	術後 随時	1日3回測定 (6・14・20時)	1日2回測定 (6・14時)	1日1回測定 (14時)				
今回の手術		☐ 腹腔鏡下嚢腫核出術 ☐ 腹腔鏡下癒着剥離術・病巣除去術 ☐ 腹腔鏡下卵巣多孔術 ☐ 不妊症腹腔鏡（診断目的） *詳しい手術内容に関しては、『同意・説明書』にて記載、説明します			退院後の自宅での過ごし方＜注意点＞ ☐ 発熱・下腹部痛・創部トラブル認める場合は連絡または受診してください ☐ 少量の出血が持続する場合がありますが、多い時、鮮血の場合は要注意です。連絡下さい。 ☐ おおむね入浴は退院後より、性交渉は2週間後より、許可できます。詳細は次回受診時に確認してください。 *退院後の注意点は退院前に渡されるパンフレットをご参照ください					

(本人・家族)

寿泉堂 総合病院
総合入院診療計画書

平成 年 月 日

主治医

患者名 様

担当医

病 名 ☐ 進行流産 ☐ 不全流産

担当看護師

☐ 稽留流産

担当薬剤師

日 時		入院～手術前日	手術 月 日	当日の午前に退院予定
		入院日	手術前	手術2時間後
達成 目 標 (治療計画)		①不安なく処置、手術を受けることができる ②内服薬の作用について説明を受け、内服できる ③退院後の生活、次回の妊娠について説明を受け、不安なく退院できる		
説 明 指 導 書 類		◎説明、リインフォース ◎書類確認 □承諾書 □入院申込書	◎化粧、ネイルは× ◎カネ、ソックスは× ◎ブラジャー×	◎退院指導 (担当看護師が行います)
転倒・転落に ついて		転倒・転落アセスメントスコアシートを使用し、必要な介入をします。 ・低床ベッドにする・ナースコールを適切な位置に配置・センサーマットを使用・ベッド柵2点以上・ 転んだ場合は看護師にお知らせ下さい		
治 療	治療 処置	夕方 前処置：頸管拡張 ラミナリア挿入します	9時手術（6階） （ナプキン・ショーツ持参）	
	検査	追加検査がある場合があります		
服 薬	点滴 薬	夕食後・就寝前に渡された薬を 飲んでください （薬剤師が説明します）	7時点滴 8：30 前投薬注射 （筋肉注射）	術後薬を飲んでください
看 護	食 事	21時以降絶飲食	絶飲食	2時間後飲水可
		特別な栄養管理の必要性	☒ 無	
	安 静	病棟内フリー	筋肉注射後はベッド上安静です 手術後2時間は安静にしてください	
	検 温	14時・20時	6時	2時間後

退院指導計画書

退院後の 治療計画 留意点 注意点	退院後の自宅での過ごし方〈注意点〉
	① 発熱、異常出血、下腹部痛が続くようであれば、受診してください ② シャワーは当日から、入浴は3日目から、勤務は7日目から、性生活は14日目から ③ 手術後は頭痛、めまい、肩こり、 下腹部の張り、気分の不安定（イライラ）などの 症状が出やすいので無理をしないでください。



何か不安なことや
心配なことがありまし
たら担当医または
看護師にお話し下さい

次回外来受診日は 平成 年 月 日 () ☐ 午前 ☐ 午後です

予約券をお渡しします

寿泉堂総合病院 産婦人科

(本人・家族)

寿泉堂 総合病院 総合入院診療計画書

平成 年 月 日
主治医

患者名 様 担当医

病 名 ☐子宮内膜掻爬術 担当看護師

☐子宮内膜ポリープ ☐子宮内膜増殖症 ☐子宮体癌疑い 担当薬剤師

日 時		入院～手術前日	手術 月 日	当日の午前に退院予定
		入院日	手術前	手術 2 時間後
達成目標 (治療計画)		①不安なく処置、手術を受けることができる ②内服薬の作用について説明を受け、内服できる ③退院後の生活、次回の妊娠について説明を受け、不安なく退院できる		
説明指導書類		◎説明、お話し ◎書類確認 □承諾書 □入院申込書	◎化粧、ネイルは× ◎お風呂、シャワーは× ◎ブラジャー×	◎退院指導 (担当看護師が行います)
転倒・転落について		転倒・転落アセスメントスコアシートを使用し、必要な介入をします。 ・低床ベッドにする・ナースコールを適切な位置に配置・センサーマットを使用・ベッド柵 2 点以上・転んだ場合は看護師にお知らせ下さい		
治療	治療処置	夕方 前処置：頸管拡張 ラミナリア挿入します	9 時手術（6 階） （ナプキン・ショーツ持参）	
	検査	追加検査がある場合があります		
服薬	点滴薬	夕食後・就寝前に渡された薬を飲んでください (薬剤師が説明します)	7 時点滴 8：30 前投薬注射 (筋肉注射)	術後薬を飲んでください
看護	食事	2 1 時以降絶飲食	絶飲食	2 時間後飲水可
		特別な栄養管理の必要性	☒ 無	
	安静	病棟内フリー	筋肉注射後はベッド上安静です 手術後 2 時間は安静にしてください	
	検温	1 4 時・2 0 時	6 時	2 時間後

退院指導計画書

退院後の 治療計画 留意点 注意点	退院後の自宅での過ごし方〈注意点〉
	① 発熱、異常出血、下腹部痛が続くようであれば、受診してください ② シャワーは当日から、入浴は3日目から、勤務は7日目から、性生活は14日目から ③ 手術後は頭痛、めまい、肩こり、 下腹部の張り、気分の不安定（イライラ）などの 症状が出やすいので無理をしないでください。



何か不安なことや
心配なことがありまし
たら担当医または
看護師にお話し下さい

次回外来受診日は 平成 年 月 日 () ☐午前 ☐午後です

予約券をお渡しします

寿泉堂総合病院 産婦人科

(本人・家族)

	入院当日	手術当日	手術後	手術後1日目	手術後2～5日目 退院
説明	入院時オリエンテーション(看護師) ・書類の提出をお願いします。 (入院時書類2枚・手術同意書) 手術前オリエンテーション ・手術室スタッフ：(麻酔の説明をします) ・担当看護師：(必要物品お預かりします) バスタオル2枚 T字帯1枚 準備をお願いします。	家族の方へのお願い ・手術1時間前にお越し下さい。手術時間によって予定より早まる場合があります。 ・貴重品等は金庫など利用して頂くようお願いします。 手術に向けての準備 ・入れ歯、指輪等外します。 ・髪の毛の長い方は2つに結びます。	手術後の説明 ・担当医師より説明があります。 手術後、HCU 室に部屋が変わりますが、翌日には元の部屋に戻ります。		・検査結果や日常生活に支障がない場合、退院となります。 ・退院指導、生活指導を行います。 お会計概算(食事料金含む) 3割負担→18万5千円程度 1割負担(後期)→5万程度 ※個室料金別途・1週間入院場合※ ・退院当日、病棟事務が説明に伺います。
治療 処置		6時 浣腸 ・病衣に着替え、点滴開始します。 ・弾性ストッキングを着用します。 手術1時間前 前投薬 ・肩に筋肉注射を行います。	酸素投与 心電図モニター装着 → 終了 AVインパルス装着 → 終了	10時 点滴終了 止血剤：血尿をおさえるお薬です 抗生剤：発熱・炎症をおさえるお薬です。	
検査	身長・体重測定		手術後、採血	6時採血 10時レントゲン	
薬	・常用薬の確認を行います(薬剤師) ・寝る前に下剤を服用して頂きます。	・麻酔科医の指示で内服をする場合があります。	夕から抗生剤の内服	止血剤処方 ・常用薬内服再開します。	・退院時、担当薬剤師が服薬指導を行います。
安静	・制限はありません。		ベッド上安静	歩行可(医師の確認後)	
排泄			・手術中、尿道カテーテルを留置してきます。	尿道カテーテル抜去 →尿がスムーズに出ているか聞いて確認します。	
食事	21時～絶飲食		・麻酔覚醒後、水分摂取出来ます。(医師の確認後)	常食	
清潔	入浴	清拭		シャワー浴	入浴
検温	1検 (14時)			1日3検 (6・14・20時)	1日1検 (14時)
特別な栄養管理の必要性		有 ・ 無 (どちらかに○)			
総合的な機能評価		病状の安定が見込まれた後、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明いたします			

注1)入院期間については現時点で予想されるものである。

退院指導計画書		予想される退院日	平成	年	月	日
退院後の療養計画	退院おめでとうございます。 次回外来受診予定日は平成 年 月 日（ ） 時頃です。					
療養上の注意点	・水分は1日1500～2000mlを目安に摂取してください。 ・退院後、発熱や血尿、尿が出にくいなど何か症状がありましたら、早めに外来へ受診するようお願いします。 ・尿を溜めすぎないように気を付けてください。					

説明で分からないところや困っている事などがあればいつでもお話し下さい。

(本人・家族)サイン: _____

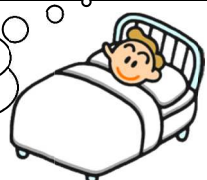
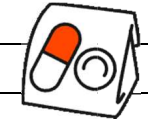
達成目標①不安なく治療を受け入れる事が出来る。

担当医：

②合併症なく経過でき、退院後の生活について理解出来る。

担当看護師：

担当薬剤師

	入院当日	手術当日	手術後	手術後 1日目	手術後 2～7日目	手術後8日目～退院
説明	入院時オリエンテーション ・病棟内の説明をします。 (テレビカード・金庫など) ・書類の提出をお願いします。 (入院時書類2枚・手術同意書など) 手術前オリエンテーション ・計画書に沿って説明を行います。 ・必要物品をお預かりします。	家族の方へのお願い ・手術 30 分から 1 時間前にはお越しください。 手術に向けての準備 ・入れ歯、指輪等外します。 ・貴重品等は金庫などを利用して頂くようお願いします。	手術後の説明 ・担当医師より手術後の説明を行います。	痛みなどの症状や気になることがある際はいつでもお知らせください。 		・1週間くらいで病理の結果が出ます。 検査結果や日常生活に支障がない場合、退院となります。 ・退院指導、生活指導を行います。 お会計概算 約 15 万円 (3 割負担の場合、限度額認定未使用) ※個室料金別途※ ・退院当日、病棟事務より説明に伺います。
治療処置	バスタオル2枚 	手術 1 時間前に準麻酔を行います。 ・病衣に着替え、点滴開始します ・弾性ストッキングを着用します	医師の指示により膀胱内へお薬を注入することがあります。 心電図モニター、AV インパルス装着	10 時 回診 → 終了	点滴終了(術後3日目) 水分をなるべく多めに摂取するよう心掛けましょう！ 	
検査	身長・体重測定		手術後、採血	採血		
薬	・常用薬の確認を行います(薬剤師)	・医師の指示により朝の内服をお渡しします。	・夕より抗生剤の内服を開始します。	・常用薬内服再開となります。 ・止血剤の内服を開始します。	○ ○ ○	・退院時、担当薬剤師より服薬指導を行います。 
安静	・制限はありません。	準麻酔注射後よりベッド上安静	ベッド上安静	医師確認後より歩行可能	○	
排泄		6 時に浣腸を行います	・尿道カテーテルを留置します。		尿道カテーテル抜去	
食事	常食※21 時以降は絶飲食です。	欠食	医師確認後より水分摂取可能	常食		
清潔	入浴	清拭			シャワー浴(指示確認後)	
検温	1 日 1 検 (14 時) 検温に伺います。		・術後は適宜検温を行います。	1 日 3 検 (6・14・20 時)	1 日 3 検 (6・14・20 時)	1 日 1 検 (14 時)
特別な栄養管理の必要性		有 ・ 無				
総合的な機能評価		病状の安定が見込まれた後、日常生活能力と認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明致します。				

注1)入院期間については現時点で予想されるものである。

注2)病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変り得るものである。

退院指導計画書

退院後の療養計画	・退院おめでとうございます。 次回外来受診予定日は平成 年 月 日（ ） 時頃です。
療養上の注意点	・退院後、発熱や痛みなど症状が続く際は、早めに外来へお越しください。 ・退院後も尿もれや血尿が出ることがあります。水分をなるべく多めに摂取するよう心がけてください。 また血尿が続くようなとき・尿が出にくいなど症状がある際は、早めに外来へお越しください。



（本人・家族）

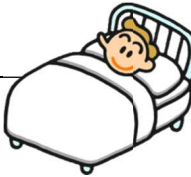
達成目標①不安なく治療を受け入れる事が出来る。

②合併症なく経過でき、退院後の生活について理解出来る。

担当医: _____

担当看護師: _____

担当薬剤師 _____

	入院当日	手術当日	手術後	手術後 1日目	手術後 2～7日目	手術後8日目～退院
説明	入院時オリエンテーション ・病棟内の説明をします。 ・書類の提出をお願いします。(入院時書類2枚) 手術前オリエンテーション ・手術の説明を行います。 ・必要物品お預かりします。	手術に向けての準備 ・義歯、指輪等外します。 ・貴重品等は金庫などに入れて下さい	術後の説明 ・担当医師より手術後の説明を行います。	痛みなどの症状や何か気になることがある際はお知らせ下さい。		【退院説明】 ・約1週間で病理の結果が出ます。 医師診察し、検査結果にも支障がない場合は退院となります。 ・退院後の生活指導を行います。 お会計概算 約 20 万円 ※個室料金別途※ (3割負担時、限度額認定未使用) ・退院当日、病棟事務より説明を行います。 
処置 治療		6時 浣腸 ・点滴をします ・弾性ストッキングの着用	手術1時間前に準麻酔		点滴終了	
検査	身長・体重測定 ・14 時:前立腺エコー(尿を溜めてもらいます) ・尿流出の検査を行います		手術後、採血		・尿道カテーテル抜去後、尿流出の検査を行います	
薬	・常用薬の確認を行います ・下剤を飲んでもらいます			・常用薬内服再開となります。		・退院時、担当薬剤師より服薬指導を行います。 
安静	・制限はありません。		ベッド上安静	・医師の指示のもと病棟内歩行可能となります。 	水分をなるべく多めに摂取するよう心掛けましょう！	
転倒 転落	転倒・転落スコアシートを使用し、必要な介入をします。 ・低床ベッドにする・ナースコールを適切な位置に配置・センサーマットを使用・ベッド柵2点以上使用・転んだ場合は看護師にお知らせ下さい。					
排泄	・排尿状況について教えてください(別紙) ・排尿記録を書いて下さい(別紙)		・尿道カテーテルを留置します。		尿道カテーテル抜去(術後約 3～4 日目) 尿道カテーテル抜去翌日↓ ・排尿状況について教えてください(別紙) ・排尿記録を書いて下さい	退院
食事	常食※21 時以降は絶飲食です。	欠食	・医師の指示で水分摂取が可能です	常食		
清潔	入浴	清拭			シャワー浴(指示確認後)	
検温	1日1検 (14 時)検温に伺います。		・術後は適宜検温を行います。	1日 3 検 (6・14・20 時)	1 日 2 検 (6・14 時)	1 日 1 検 (14 時)

注1)入院期間については現時点で予想されるものである。 注2)病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変り得るものである。

退院指導計画書

退院後の療養計画	・退院おめでとうございます。 次回外来受診予定日は平成 年 月 日 () 時頃です。
療養上の注意点	・退院後、発熱や痛みなど症状が続く際は、早めに外来へお越しください。 ・退院後も尿もれや血尿が出ることがあります。水分をなるべく多めに摂取するよう心がけてください。 また血尿が続くようなとき・尿が出にくいなど症状がある際は、早めに外来へお越しください。



説明で分からないところ
困っている事などあれば
いつでもお話し下さい。

(本人・家族) _____

寿泉堂綜合病院
入院診療計画書

平成 年 月 日 号室

患者名 _____ 様 主 治 医 _____

病 名	担 当 医
-----	-------

術式(右 左)硝子体切除術(＋白内障手術)	担当看護師	担当薬剤師
-----------------------	-------	-------

達成目標

- ①不安なく手術を受けることができる。
- ②指示された内服により、眼圧上昇を予防でき、異常時にはすぐ看護師に報告できる。
- ③術後の安静を保つことにより、術後の合併症を起こさない。
- ④安静保持による精神的・身体的苦痛が緩和し、落ち着いた療養生活が送れる。
- ⑤退院までに自己点眼ができ、退院後の生活に自信が持てる。

	入院～手術前日		手術当日 平成 年 月 日		術後1日目	術後2日目から退院前日まで	退 院
	入院日 平成 年 月 日		術 前	術 後			
説 明 指 導 補 液	●手術前の説明・オリエンテーション ・担当医・看護師 ●入院時以下の物をお預かりします。 ・入院申込書 ・手術承諾書 ・質 問 表 ●入院治療計画書をお渡しします		なにか不安な事や心配な 事がありましたらお気軽 に担当医または看護師へ ご相談下さい。		●手術後、手術眼をガーゼで覆います。 次の日の診察の時まではがさないで下さい。 ●痛みがある場合は、看護師へ お知らせください	●昼頃よりご自分で点眼するよう になります。点眼の方法は 病棟で説明を行います。 ●保護の眼帯についても説明 があります。	退院前日 ●退院後の生活指導 ＊退院後の治療方針および退院後の留意点に ついて退院指導 ＊計画書にもとづいて医師、看護師から説明が あります。 ＊何か気になる症状があれば、看護師へ お知らせ下さい。
治 療 処 置	・手術前の点眼(看護師が行います) (/ より) ・涙嚢洗浄(手術前日) ・睫毛切除(手術前日)		(:) より 点眼を開始します。		手術後、問題なければ点滴を抜去します。	クラビット ジクロード リンデロン 1日4回() 眼 昼より開始	退院後も点眼を 継続します
検 査	診 察 術前検査		術前診察		診 察 術後検査		退院診察
薬	飲んでいる薬があれば教えてください (薬剤師からの服薬指導があります)						薬剤師からの退院時 服薬指導があります。
安 静 活 動 排 泄	病棟フリー		* 都合により、手術開始時間が、遅れることが ありますので、ご了承ください。 * 術前の筋肉注射の前にトイレを済ませて いただきます。看護師が声をかけます。		* 食事の配膳・下膳はスタッフに おまかせ下さい。 * 眼科外来への行き来は車椅子で 移動します。(医師の許可があるまで) * 安静体位が必要なときは医師から 説明があります。 * トイレに行く以外はベッド上で安静に して下さい。		* 医師の許可が出てから、安静解除と なります。 階段ではなくエレベーターをご利用ください。 * 引き続き、頭や目をぶつけないよう注意して 下さい。
食 事	普通食		(朝・昼) は 食べられません。		(昼・夕) 食より食事開始に なります。		
清 潔	手術前日には、体調がよ ければ入浴と洗髪を してください				洗髪禁止・洗顔禁止 首下シャワー浴可です。		
検 温	一検		手術前後バイタル		1日一検		
特別な栄養管理の必要性	無・有(腎臓病・心臓病・糖尿病・その他)						
総合的な機能評価	病状の安定が見込まれた後、日常生活能力、認知機能等について必要な場合は主治医よりご説明いたします						
退院指導計画書 予想退院日 平成 年 月 日() 午前中							(本人・家族)
<次回外来受診日> 平成 年 月 日() () 時台 * その後の診察は次回外来受診時にご確認下さい。		<退院後の注意点> 1. 点眼を忘れずに使用して下さい。 2. 眼をこすらないように注意してください。 3. 洗顔は許可があるまで出来ません。		4. 洗髪は上向きで、他の人に洗ってもらって下さい。 5. お風呂は首下までなら可能です。 6. 重たいものは持たないで下さい。 ◎その他、ご心配な点がございましたら担当医に御相談下さい。			

寿泉堂 総合病院

入院診療計画書

平成 年 月 日

号室

患者名

様

主治医

病 名

慢性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症

担当医

肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎

担当看護師

薬剤師

達成目標

①不安なく手術を受けることができる

②術後の合併症もなく、順調に経過することができる

③術後の身体の変化を受け止め、退院後の生活が理解できる

④

	入院～手術前日	手術当日	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
	入院日	平成 年 月 日		/	/	/	/	/	/	/	/	/
説 明 指 導	●手術前の説明・オリエンテーション ・担当医・看護師 ・術前訪問(麻酔医・手術室看護師) ●入院時以下の物をお預かりします ☐必要物品 ☐入院申込書 ☐手術同意書(耳鼻科) ☐麻酔同意書(麻酔科) 	<家族の方へのお願い> ・ご家族の方は、お昼頃までに病院へおいで下さい ・付き添いはお願いしていません 手術に向けての準備をしましょう ☐化粧・マニキュアはしない ☐爪を短く切る ☐ひげそり ☐長い髪はゴムで2つに結ぶ ☐眼鏡・コンタクトを外す ☐時計・指輪・ネックレス ☐ピアス・ヘアピンを外す ☐病衣・ショーツのみに着替える 	以下の症状がある場合は看護師にお知らせください ・鼻出血が多く、のどに血液が流れる ・物がだぶって見える、かすんで見えるなどの、視力の異常がある	 手術後は マスクをかけて 鼻の乾燥を防ぐよう 心がけてください						●退院指導(術後7～8日目) 退院後の注意について受け持ち看護師より説明します ●退院に向けての説明 医師と相談し退院日を決定します 退院前(時)医師より本人、家族へ今後の治療方針について説明があります		
			面会時間 平日:お昼から夜の8時まで 休日:午前10時から夜の8時まで									
治 療 処 置			痛い時は看護師へお知らせください 鼻からの多少の出血がみられます 綿球の交換を適宜しましょう のどに血液が流れる場合は、飲み込まずに出してください	耳鼻科外来で鼻腔内のガーゼを一部抜きます	耳鼻科外来で処置をします		耳鼻科外来で診察・吸入があります。看護師より連絡がありましたら外来へ行きます ★夕方(16:00)も吸入がありますので外来へ行きます ★鼻の乾燥を防ぐために病棟でも吸入を行う場合があります					
検 査	☐術前検査 ※追加で検査がある場合はお知らせします		心電図モニター 	 ☐採血(木曜手術の方)	☐採血(月・火手術の方)							
薬 補 液	飲んでる薬があれば教えてください 眠れないときは早めにお知らせください	 11時頃より点滴を行います 前投薬(筋肉注射)	 帰室後 点滴2本 抗生剤2回(手術時・午後)	点滴4本 抗生剤2回	点滴2本 抗生剤2回	点滴1本 抗生剤2回	朝から内服薬を開始します * 薬剤師より説明があります					
安 静 活 動		前投薬時よりベッド上安静です	ベッド上安静です	外来には車イスで移動します	制限はありません * 外出を希望するときは担当医に相談してください							
食 事	手術前日の夜9時以降は絶飲食になります	絶飲食です	手術3時間後より、水分をとることができます(お茶や水を用意してください)	朝 全粥食		常食になります						
	特別な栄養管理の必要性 ☐有 ☒無											
排 泄	前日の尿と便の回数を聞きます(午前6時～翌日午前6時までの回数)	前投薬をする前にトイレをすませてください	手術3時間後より看護師と一緒にトイレ歩行ができます。	トイレ 歩行 できます								
清 潔	入浴 シャワー浴	術前:朝 洗顔 化粧はしないこと 術後:夜の洗面は お手伝いします	◎お手伝いします 朝夕 洗面 朝9時 着替え・からだ拭き	洗髪・シャワー 								
検 温	2回 (14時・20時)	2回 (6時、前投薬施行時)	術後:随時 (帰室時・19時・23時)	3回 (10時・14時・20時)					2回 (午前6時/午後14時)			

転倒・転落について	●転倒・転落アセスメントスコアシートを使用し、必要な介入を行います。 ・低床ベッド ・ベッド柵2点以上使用 ・ナースコールの適切な位置に配置 ・転んだ場合は、看護師に報告ください。 ・センサーマットを使用	退院指導計画書	
		退院後の治療計画	① 外来にて引き続き加療します。 ② 内服薬は継続します。
患者さんおよび家族への説明	手術術式：内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、内視鏡下鼻腔手術 ※詳しい手術内容に関しては『同意・説明書』にて記載・説明します (本人・家族)	退院後の留意点	① マスクをかけて鼻の乾燥を防ぐよう心がけてください。 ② 激しい運動はさけて下さい。飲酒はひかえめにして下さい。 ③ 規則正しい生活を心がけましょう。 ④ 鼻出血・疼痛がある時は受診してください。

◎ 状況に応じて変更になることがあります

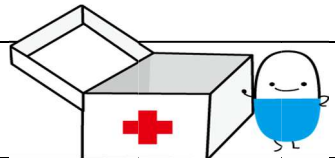
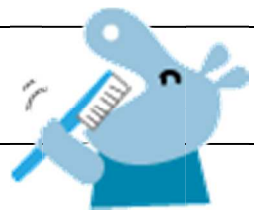
次回外来受診日は退院時にお渡しする予約券をご参照ください。

寿泉堂 総合病院
入院診療計画書

平成 年 月 日 号室

患者名 様 主治医
病 名 扁桃肥大 担当医
アデノイド増殖症 担当看護師 担当薬剤師

- 達成目標
- ①不安なく手術を受けることができる
 - ②術後の合併症もなく、順調に経過することができる
 - ③痛みが軽減し、食事が半分以上食べることができる
 - ④退院後の生活が理解できる

	入院～手術前日	手術当日	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目～退院
	入院日	平成 年 月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/ (退院日誌)
説明指導	●手術前の説明・オリエンテーション ・担当医・看護師 ・術前訪問(麻酔医・手術室看護師) ●入院時以下の物をお預かりします ☐ 必要物品 ☐ 入院申込書 ☐ 付き添い許可願 ☐ 手術同意書(耳鼻科) ☐ 麻酔同意書(麻酔科) 	<家族の方へのお願い> ・ご家族の方は、お昼頃までに病院へおいで下さい 手術に向けての準備をしましょう ☐ 化粧・マニキュアはしない ☐ 爪を短く切る ☐ 長い髪はゴムで2つに結ぶ ☐ 眼鏡・コンタクトを外す ☐ 時計・指輪・ネックレス ☐ ピアス・ヘアピンを外す ☐ 病衣・ショーツのみに着替える 	以下の症状がある場合は看護師にお知らせください ・出血が多く、のどに血液が流れる ・痛みが増強してきたとき ・鼻血が出た時 出血時は医師に報告します	 ポテトチップス・せんべい・カレー・炭酸飲料など、からい物・固い物・刺激物などは、出血の危険性・傷の治りに影響しますので、次回再診日までは食べないようにしましょう  面会時間					●退院指導 退院後の注意について受け持ち看護師より説明します ●退院に向けての説明 医師と相談し退院日を決定します 退院前(時)医師より本人、家族へ今後の治療方針について説明があります 平日:お昼から夜の8時まで 休日:午前10時から夜の8時まで			
治療処置		術前外来診察	口からの多少の血液がみられます のどに血液が流れる場合は、飲み込まずに出してください	入院中は、毎日耳鼻科外来で診察・吸入があります。病棟看護師より連絡がありましたら外来へ行きます ★午前中は病棟看護師より連絡を受けたら外来においでください ★午後は(16:00)に吸入がありますので外来へ行きます								
検査	☐ 術前検査		心電図モニター 		☐ 採血 (木曜日手術の方)	☐ 採血 (月・火手術の方)						
薬補液	飲んでる薬があれば教えてください 眠れないときは早めにお知らせください	 11時頃より点滴を行います 前投薬(座薬・注射)	 帰室後、点滴2本 抗生剤2回(手術時・午後)	点滴3本 抗生剤2回	点滴3本 抗生剤2回	点滴2本 抗生剤2回	朝から内服薬を開始します * 薬剤師より説明があります					
安静活動		前投薬時よりベッド上安静です	ベッド上安静です 目が覚めるまでは横向きに寝かせてください	★なるべくベッド上で安静に過ごしましょう 外来に行く時以外は、病棟内で過ごしましょう 								
食事	手術前日の夜9時以降は絶食になります 特別な栄養管理の必要性 ☐ 有 ☒ 無	絶食です 水分(お茶・水)は 時まで飲めます	手術3時間後より、水分をとることができます(お腹がきちんと動いているか確認します)	朝～3分粥	朝～5分粥 うどん変更可	朝～7分粥	朝～全粥	朝～常食	手術後1日目以降、食事が進まない時は ヨーグルト・プリンなどを摂取しましょう			
排泄	1日の尿と便の回数を聞きます (午前6時～翌日午前6時までの回数)	前投薬をする前にトイレをすませてください	手術3時間後より看護師と一緒にトイレ歩行ができます。	トイレ歩行 できます								
清潔	入浴 シャワー浴	術前:朝 洗顔 術後:夜の洗面は お手伝いします 	◎お手伝いします 朝9時頃、体を拭き、着替えをします うがいはいはできます 歯磨きは禁止です			注意して 歯磨き可	医師の指示により洗髪・シャワー可能です。 					
検温	3回 (入院時・14時・20時)	3回 (6時・10時・前投薬施行時)	術後:随時 (帰室時・19時・23時)	4回 6・10・14・20時	はみがきは、歯ブラシにより手術した場所を傷つけて 出血を引き起こしてしまうおそれがあるので、注意して行いましょう。					3回 (6時・14時・20時)		
転倒・転落について	●転倒・転落アセスメントスコアシートを使用し、必要な介入を行います。 ・低床ベッド ・ナースコールの適切な位置に配置 ・センサーマットを使用 ・ベッド柵2点以上使用 ・転んだ場合は、看護師に報告ください。			退院指導計画書								
患者さんおよび家族への説明	手術術式:両口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術 ※詳しい手術内容に関しては『説明・同意書』に記載・説明します。 (本人・家族)			退院後の治療計画 ① 約1週間後の診察となります。 ② 内服薬はありません。 退院後の留意点 ① 次回受診日まで激しい運動を避けるようにしましょう ② 刺激物の摂取を避けるよう心がけてください ③ 規則正しい生活を心がけましょう。 ④ 出血・咽頭痛がある時は受診してください。								